

伏見西部第四地区

住民とのパートナーシップ

区画整理通信

計画の見直しにより期待される効果

区画整理事業の事業計画を見直し、基盤整備事業を早期に完了することにより、以下のような効果が期待できます。

- 建築物の新築・増改築や新たな土地利用への制限期間が短くなり、建築活動や土地利用が促進されます。
- 道路・水路等が早期に整備されることで、利便性と防災性が向上し、地域の発展が促進されます。
- 長年、育まれた地域コミュニティが保持され、将来にわたって住み続けられるまちづくりができます。

事業の早期完了に向けて (計画の見直しの検討手順)

「課題解決に向けたコンセプト(基本的な考え方)案」に基づき、京都市が見直し計画の素案を作成し、権利者のみなさまのご意見を反映しながら計画の見直しを進めます。

ステップ1

《平成19年秋頃》

早期の事業完了を目指し、見直しの方向性に基づき見直し計画(素案)を作成します。

ステップ2

素案について、みなさまから意見を聞く場を設けます。

ステップ3

見直し計画を確定し、その後、事業計画を変更する手続きを行います。

各ステップの具体的な実施方法・日程等を後日お知らせいたしますので、よろしくお願い致します。

■ はじめに

平素は区画整理事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。

区画整理通信第4号では、第3号(平成18年12月発行)で報告しました区画整理に関するアンケート調査の結果、横大路ルネッサンスプロジェクト会議の取組等を踏まえ、事業の早期完了に向けた『課題解決に向けたコンセプト(基本的な考え方)案』についてお知らせ致します。

■ 課題解決に向けたコンセプト(基本的な考え方)案

事業が長期化するという課題の解決に向けて、アンケート調査の結果等を考慮し、以下のコンセプト(基本的な考え方)案を提案します。

伏見西部第四地区の課題 ～事業の長期化～

現在の事業計画では、府道西側区域において多くの建物移転(約300戸)が伴います。また、交渉、移転先の確保に多くの時間が必要となり、事業の完了までに更に数十年の期間を要することが予想されます。

この結果、
 ・道路や建物移転の工事の長期化
 ・長引く建築制限
 ・コミュニティ活動への影響
 により地域の発展の遅れが懸念されます。

アンケート調査結果(平成18年7～9月実施)

土地区画整理事業の早期完了に向け、事業計画を見直し、事業に伴う建物移転を少なくすべきであるというご意見が大勢を占めました。

京都市の事業への取り組み姿勢

地域の取組を踏まえ、現在の計画に固執することなく柔軟に対応し、計画の変更も視野にいて検討を進め、事業の早期完了を目指します。

課題解決に向けたコンセプト(基本的な考え方)案

～事業の早期完了による地域の発展促進に向けて～

- ① 建物の移転計画を見直します。
- ② 道路、水路などの公共施設の配置計画を見直します。
- ③ 地域コミュニティの維持や魅力の向上に配慮します。

お問合わせ先：京都市南部区画整理事務所

住 所：京都市伏見区下鳥羽但馬町134番地

電 話：075-601-6181 FAX：075-601-8522

ホームページ：http://www.city.kyoto.jp/kensetu/toshiseibi/index.htm

